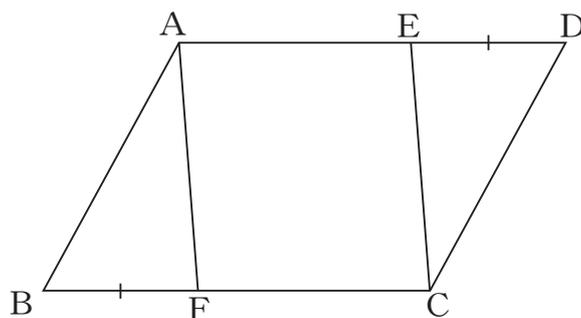


- 8 平行四辺形ABCDの辺AD，辺BC上に， $DE = BF$ となるような点E，点Fをそれぞれとるとき， $AF = CE$ となることを，ある学級では，下の図1をかいて証明しました。

図1



証明

$\triangle ABF$ と $\triangle CDE$ において

四角形 ABCD は平行四辺形だから，

$$AB = CD \quad \dots\dots \textcircled{1}$$

$$\angle ABF = \angle CDE \quad \dots\dots \textcircled{2}$$

仮定から， $BF = DE \quad \dots\dots \textcircled{3}$

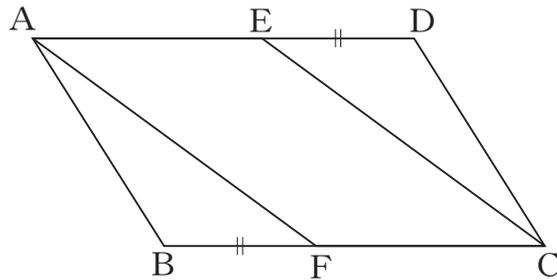
①，②，③より，2辺とその間の角がそれぞれ等しいから，

$$\triangle ABF \equiv \triangle CDE$$

したがって， $AF = CE$

この証明のあと，**図1**と形の違う**図2**のような平行四辺形ABCDについても，同じように $AF = CE$ となるかどうかを考えてみたところ，下の**ア**から**エ**のような意見が出ました。正しいものを1つ選びなさい。

図2



- ア** **図2**の場合も， $AF = CE$ であることは，すでに前ページの証明で示されている。
- イ** **図2**の場合は， $AF = CE$ であることを，改めて証明する必要がある。
- ウ** **図2**の場合は， $AF = CE$ であることを，それぞれの長さを測って確認しなければならない。
- エ** **図2**の場合は， $AF = CE$ ではない。